

職リハ学会通信

No. 182 2025 年 6 月発行

目 次

第 52 回兵庫大会のお知らせ	2P
運営理事会報告	3P
委員会報告	5P
事務局からのお知らせ	5P

第 52 回兵庫大会のお知らせ

8 月 22 日・23 日開催の第 52 回兵庫大会は、現在、参加者申込 160 名、研究・実践発表 21 件、自主ワークショップ 9 件、ポスター発表 32 件(うち英語 7 件)と、たくさんの方にお申し込みをいただいています。今回は大会企画のプログラム内容をご紹介します。

■ 大会企画のプログラム内容

井澤大会長を含む 11 名の実行委員で大会企画のプログラムを検討してまいりました。どの企画もかなり豪華な内容になりましたので、内容をお伝えさせていただきます。

基調講演：「インクルーシブとアセスメントを考える～行動分析学からのアプローチ～」をテーマに大会長の井澤先生がご講演して下さる予定です。

基調シンポジウム：「これからを切り拓くために・就労支援の歴史と知識の活用・」をテーマに豪華な登壇者とともに開催します。現在の就労支援はニーズに応じた様々な支援機関がありますが、当たり前のようにあるこの仕組みは、何もなかった時代に奮闘して下さった先人の方々の実践があったからこそでもあり、そんな歴史を振り返りこれからに活かすための企画となっています。

認知行動療法学会との共催企画：実行委員の池田さんが企画され、「職業リハビリテーション領域における認知行動療法の実践と発展について」がテーマ。同じ時期に開催される認知行動療法学会でも職リハ学会との共催企画が予定されています。

震災から 30 年、未来へ繋ぐ就労支援：震災当時を知る方と今を担う方の両方に登壇いただき、「地域と支援のこれから」を登壇者同士で語っていただく内容です。

大学生へのキャリア支援：「行政・企業・大学・支援機関の協働による障がいのある大学生へのキャリア支援～機会提供の場づくりがもたらすアセスメント～」をテーマにして、大学生を取り巻く環境と就労支援のワークショップを開催します。行政、企業、大学、支援機関の協働の実践をお伝えいたします。

中小企業の実践：「中小企業が考える自立とやりがい」をテーマに、兵庫県中小企業家同友会の実践者を招いたディスカッションを開催します。メイン会場のホールで行いますので、中小企業での障害者雇用や地域連携に関心のある方はぜひご参加ください。

アセスメントの基本と実践：障害者の職業生活を支える「アセスメント」をテーマに、実践と理論の両面から考えるセッションを開催します。就職前にどんな情報を集め、どう環境調整していくか、実践に役立つ視点と学会ならではの知見が交差する時間になるかと思います。

医療リハと職業リハ：医療の現場と就労支援の現場それぞれの立場から、それらをどうつなぎ、実践しているのか。そのリアルな実践と課題を共有し、現場で抱える悩みに一歩踏み込むヒントを探る企画になっています。

就労選択支援：島根大会に続き、兵庫大会も最後のプログラムは「就労選択支援」です。鈴木専門官も交えて、地域の実践と前原先生のご研究を絡めて開催したいと思います。

プログラムは、これ以外にも学会企画や自主ワークショップなど盛りだくさんです。ぜひ、多くの方に参加していただけることをお待ちしております。

(実行委員長 星明聡志)